

令和2年度予算編成方針

総務部長

令和の時代が幕を開け初の予算編成は、将来の発展を見据えた施策を力強く進めるべきものとなる。あらゆる事業において、前例にとられない創意と工夫が求められる。

しかしながら、令和2年度からは幼児教育・保育の無償化、会計年度任用職員制度の開始など新たな財政出動も懸念されており、限られた財源をこれまで以上に効率よく有効に活用していかなければならない。

よって、令和2年度予算は、行財政改革を念頭に置いた事業の選択と集中を図るとともに、本市が掲げる5つの柱と2つの方針により、すべての施策が移住定住の促進につなげ、持続可能な能美市づくりを推進する。

5つの柱

① 子育て・住環境の充実

切れ目のない子育て支援体制の確立、住環境の充実を目指す

② 産業振興・企業誘致推進・人手不足対策

働きたい場所・働きやすい環境の創出、農林業の活性化、女性の活躍及びI o T・A I推進による人手不足の解消や担い手の確保、新商品・特産品の開発支援を目指す

③ 交流人口の拡大

観光アクションプランの推進、広域連携の強化による交流人口の拡大を目指す

④ 教育力の向上

教育環境の充実、文化・スポーツの振興、ふるさと愛の醸成による教育力の向上を目指す

⑤ 安全安心のまちづくり

全世代・全対象の方が快適に生活できる「誰一人取り残さない」安全安心のまちづくりを目指す

2つの方針

⑥ シティプロモーション

市民や能美市ゆかりの方、企業、各種団体等あらゆる関係者が一体となり県内外に能美市の魅力を発信する

⑦ 行財政改革

行政サービスの向上を図りつつ、持続可能な行財政運営に取り組む

チャレンジ能美 2019-2023

➤ 5か年の活動の軸となり、持続可能な発展に寄与する事業の展開（2年目）

合併15周年の節目を機に、合併後20年以降の方向性を見据えながら、将来展望を描ける事業を「チャレンジ能美 2019-2023」と位置付け、持続可能な発展を目指す

また、令和2年度においては、合併15周年を記念する事業・イベント等を検討されたい

その他

- ・補正予算は制度改正、災害関連経費など止むを得ないもの、真に喫緊の課題解決に係るもの又は当初予算編成の中で協議したもの以外は、原則、行わない
- ・国、県の各種制度改正や新規財政需要の増加等がないか、常にその動向を注視すること
- ・具体的な予算要求の方法等は別途財政課長通知（予算編成要領）を熟読のこと